

書く文章において、皆さんがこれから学ぶべきことは、「公的な文章」・「フォーマルな文章」・「ビジネスにおける文章（文書）」などである。
よく目にするのが、自分の進路を決める文章を書く場合に、いつも話している言葉そのままを書いたり、仲間同士のメールでのやりとりのような語彙をそのまま書いている文章である。見ず知らずの大人が読んでも、不快に思わない文章。または、誰が読んでも言いたいことが伝わる文章にするためには、「話し言葉」ではなく、「書き言葉」で書くべきである。

自分の創作作品や、日記などは個性を発揮して自由に書いてもいい（どのように受け取られるかは書いた人の責任になるので）のだが、公的な文章を独りよがりの文体で書くとは逆効果になる。

ここでは、公的な文章では書くことを避けるべき「話し言葉」について考えていく。

文章講座①、話し言葉と書き言葉、

○公的文章で書くと逆効果になってしまう「話し言葉」

※ () の中に書き言葉を入れてみよう。

(ア) 話し言葉そのもの

やばい↓()	
あと↓()	()
けど↓()	()
そしたら↓()	()
そうゆう↓()	()
なので↓()	()
いっぱい↓()	()
ちゃんと↓()	()
とか↓()	()
おんなじ↓()	()
うだし、……↓()	()
うっていう↓()	()
どっち↓()	()
みたい↓()	()
でも↓()	()
なぜかっていうと↓()	()
むかつく↓()	()
これって↓()	()
自分的には↓()	()
なぜだか↓()	()

(イ) 書き言葉が変化したもの

じゃない↓()	()
ばかり↓()	()
だけ↓()	()
わかんない↓()	()
めんどくさい↓()	()
しとかないと↓()	()

(ウ) くだけた表現のもの

ケータイ↓()	()
部活↓()	()
バスケ部↓()	()
いまいち↓()	()

(エ) カタカナ表記

そんなコト↓()	()
わかんないケド↓()	()

(オ) 助詞の省略

それだけでなく↓()	()
ケーキ食べない↓()	()

(カ) ら抜き言葉

食べれない↓()	()
見れる↓()	()
来れる↓()	()

(キ) 体言止め

私は今勉強中。↓()	()
それは正解。↓()	()

(ク) その他
※話し言葉ではないが、漢字を使うべきではない表現

〜と言う表現↓()	()
試して見る↓()	()

※字が丁寧だと、印象ががらりと変わる例。

書く文章において、皆さんがこれから学ぶべきことは、『公的な文章』・『フォーマルな文章』・『ビジネスにおける文章（文書）』などである。

よく目にするのが、自分の進路を決める文章を書く場合に、いつも話している言葉そのままを書いたり、仲間同士のメールでのやりとりのような語彙をそのまま書いてある。見ず知らずの大人が読んでも、不快に思わない文章。または、誰が読んでも言いたいことが伝わる文章にするためには、『話し言葉』ではなく、『書き言葉』で書くべきである。

自分の創作作品や、日記などは個性を発揮して自由に書いてもいい（どのように受け取られるかは書いた人の責任になるので）のだが、公的な文章を独りよがりの文体で書くと逆効果になる。

書く文章において、皆さんがこれから学ぶべきことは、「公的な文章」・「フォーマルな文章」・「ビジネスにおける文章（文書）」などである。

よく目にするのが、自分の進路を決める文章を書く場合に、いつも話している言葉そのままを書いたり、仲間同士のメールでのやりとりのような語彙をそのまま書いてある文章である。見ず知らずの大人が読んでも、不快に思わない文章。または、誰が読んでも言いたいことが伝わる文章にするためには、「話し言葉」ではなく、「書き言葉」で書くべきである。

自分の創作作品や、日記などは個性を発揮して自由に書いてもいい（どのように受け取られるかは書いた人の責任になるので）のだが、公的な文章を独りよがりの文体で書くと逆効果になる。